

高浜運河に架かる橋を巡る

芝浦港南地区は運河のまちです。運河には数多くの橋が架けられ、この地域に住む人、働く人にとってなくてはならない役割を果たしています。今回は高浜運河に架かる4つの橋を巡り、その歴史を探りました。



らくすいばし
楽水橋



昭和29年に架橋されました。東京海洋大学(当時は東京水産大学)が管理していた橋(現在は港区が管理)で、同大学の同窓会である楽水会から名付けられました。現在の橋は昭和44年に架け換えられたものです(長さ約76m、幅約5m)。港南2丁目と4丁目を結んでいます。最近新しく塗装され、ペンキの色が鮮やかです。

この橋の歴史は古く昭和6年10月発行の芝区詳細図に記載されています。昭和17年、太平洋戦争中、海軍経理学校品川分校がこの近くに来たとき、当時の片岡校長が万葉集にある防人の歌「今日よりは顧みなくて大君の醜の御楯と出でたつ我は」から取って今の名前になりました。現在の橋は昭和41年に架橋されたものです(長さ約71m、幅約18m)。港南1・2丁目と4丁目を結んでいます。

みたびし
御楯橋



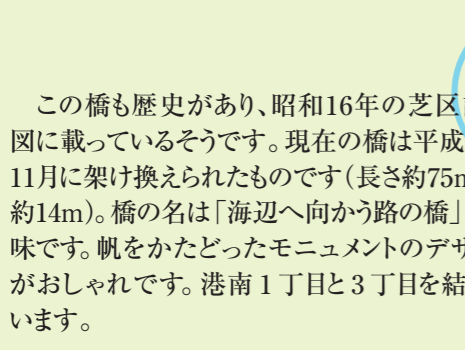
(橋は現在塗装中で、3月下旬完成予定です)



しんこうなんばし
新港南橋



昭和54年に架橋された比較的新しい橋です(長さ約72m、幅約28m)。ちなみに港南という地名は、港区の南端にあることから名付けられました。この橋の下には芝浦水再生センターの排水口があり、再処理の済んだ温かい水が流れ出し、魚が集まるため、餌を求めて水鳥も多く集まります。港南1丁目と3丁目を結んでいます。



はまじばし
浜路橋

この橋も歴史があり、昭和16年の芝区詳細図に載っているそうです。現在の橋は平成6年11月に架け換えられたものです(長さ約75m、幅約14m)。橋の名は「海辺へ向かう路の橋」の意味です。帆をかたどったモニュメントのデザインがおしゃれです。港南1丁目と3丁目を結んでいます。



夜はLEDライトで光ります

「芝浦港南地区」誕生30周年を迎えます!!

平成22年度は、芝浦港南地区の行政拠点となる「支所」が開設されてから、30年目の節目を迎えます。平成18年度に始まった区役所・支所改革に伴い、「芝浦港南地区総合支所」ができました。その前身である「芝浦港南支所」が、昭和55(1980)年5月1日に開設し、行政区画で「芝浦港南地区」が誕生しました。この30年間で、芝浦港南地区は大きく変化し、5年前に比べて人口は倍増、また、大規模マンションの建設等で、風景も様変わりしました。刻々と変化する芝浦港南地区のさらなる魅力アップを図るために、平成22年度は、歴史の伝承等の新事業を行っていきます。

平成22年度新事業

秋田県にかほ市との交流事業

平成22年は、白瀬艦隊長率いるわが国初の南極探検隊が芝浦港(現 埠頭公園)を出港して100周年となります。芝浦港南地区総合支所では、白瀬艦隊長の生地である秋田県にかほ市との交流事業を行います。たとえば、小学生の交流や、100周年記念イベント、物産展等を行い、にかほ市と芝浦港南地区の交流を図っていく予定です。



白瀬艦隊長像



仁賀保高原から望む風景



白瀬南極探検隊記念館



広々とした畑

※いずれも秋田県にかほ市内の写真

南極探検隊100周年記念事業実行委員会 実行委員募集

区立埠頭公園等で、地域の皆さんとともに記念事業を実施する予定です。このイベントを一緒に盛り上げていただける実行委員を募集します。※実行委員会の会議を、平日の夜間、原則として月1回程度実施します。

対象：芝浦港南地区在住・在勤・在学者または、秋田県に関係がある人
問い合わせ先 協働推進課まちづくり推進担当
電話：6400-0017

地区史の作成

芝浦港南地区の文化・歴史を発掘・調査・収集し、次世代に継承していくための地区史を作成します。皆さんに芝浦港南地区のこれまでの足跡を知ってもらい、地区への愛着を深めていただきたいと思います。なお、地区史の作成に際して、芝浦港南地区で撮られた写真を募集しています。

芝浦港南地区の写真募集

大規模マンション建設の前など、芝浦港南地区の風景の移り変わりが分かる写真を募集します。住所・氏名・電話番号・返却希望の有無・撮られた場所・撮られた年をご記入の上、下記あて先までお送りください。



芝浦1丁目交差点から竹芝橋方面(昭和56年撮影) 港郷土資料館提供



品川駅東口(昭和56年撮影) 港郷土資料館提供

応募・問い合わせ先
住所：〒108-8547 ※郵便番号だけで届きます。
芝浦港南地区総合支所 電話：6400-0011

30周年記念事業の実施

「芝浦港南地区」が誕生して30周年。この節目の年に、「港区ベイエリア・パワーアッププロジェクト」の「地域の魅力アッププロジェクト」の中で、芝浦港南地区の魅力を一層高める事業を実施していく予定です。